

議会のひろば

ギ カ イ

2019年(令和元年) 7月25日発行

No. 16
2019 JUL.

特集

●岡谷市議会 新体制でスタート!

令和新時代 4年間がんばります!



●表紙 6/9 土砂災害全国統一防災訓練の炊き出し

会場となった新倉区では、新和会のみなさんが炊き出しを担当されました。「これがハイゼックスっていうだよ。けっこうおいしいだえー」。災害時の炊き出しでは、手軽で衛生的で、大量のご飯を炊くことができる強化ポリエチレンの炊飯袋(ハイゼックス)を使います。米と水を入れて簡単に味付けもでき、箸がなくても食べられます。(突ゲキ生レポートより)

●もくじ

- 【特集】令和新時代 4年間がんばります!.....2~3
 - ・三役就任あいさつ/議員自己紹介
- 市議会のしくみ(役割・活動・流れ).....4~5
- 令和元年 第3回定例会
 - ・ズバリ市政を問う!一般質問(ダイジェスト版).....6~13

- ・結果報告.....14~15
- ・議案賛否一覧表/陳情の審査結果.....15
- 議会の「フォト」広場.....16
 - ・飛び出せ議員!「突ゲキ生レポート」ほか
- 編集後記.....16



●議長
渡辺 太郎

岡谷市議会の第23代議長に就任しました。微力ではありますが、時代の変化に対応した議会改革を推進し、より市民の負託に応える議会を目指して参ります。皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●副議長
藤森 博文

市政のチェック、政策の提言、民意の把握、情報公開という議会本来の役割を果たすため、微力を尽くします。特に議会が一つの塊となり、市政課題や市民の皆様への思いを行政に政策提言し、その実現を目指します。



●監査委員
中島 保明

5月22日に今井市長から監査委員選任の辞令を拝受いたしました。「光栄と不安、二つ我にあり」の心境です。自己研鑽を積み、誠実で公正不偏の態度で監査に臨み、市の行財政運営の健全性と透明性の確保に努めます。



特集 岡谷市議会
新体制でスタート!
令和新時代

4年間がんばります!!

議員自己紹介

質問 ① 岡谷市の好きな場所はどこ? ② 趣味は何ですか? ③ チャームポイント(PRポイント)は?

①新倉の山々
小口太郎顕彰碑周辺
②登山・茸採り・ウクレレ
③明るさを保ち、誠心誠意を旨とす

①四季折々
春夏秋冬の諏訪湖
②釣り・音楽鑑賞
読書
③父母が付けた名前

①初夏の諏訪湖
②オカリナ
パステル画・合唱
③歌う笑顔

①塩嶺展望台から見た
諏訪湖の夜景
②源流遡行の岩魚釣
天体写真撮影
③人を和ます笑顔と
話しやすさ

①横川の出早神社
(出早公園)
②野球・ゴルフ
③何に対しても
猪突猛進なところ

①鳥居平やまびこ公園
横川山
②体を動かす事・DIY
食べる事
③丸みがあって
迫力のない顔

①塩嶺からの景色
横河川上流
②きのご採り
落語を聞く
③人の話をよく聞く

①やまびこ公園から見た
諏訪湖
②音楽鑑賞・読書・料理
③やさしさと芯の強さ、
そして笑顔

①市営岡谷球場
②野球・スポーツ
観戦・食事
③笑顔
大きな体の
わりに身軽

①夜の湖畔公園
高ボッチ山頂
②登山・日本舞踊
③女性の視点
介護者の視点

①市役所周辺
(特に春の八重桜)
②登山
アマチュア無線
③体重62kgを
保っていること

①塩嶺峠から見る
岡谷市の夜景
②眠ること
③眠そうな魅惑の
三重まぶた

①八ヶ岳を臨む、諏訪湖の湖畔
②始めたばかりの野菜作り
& 草取り
③明るい笑顔と元気な眉間の皺

①高台から見える
諏訪湖
②野球・ゴルフ
③体力と行動力

①塩嶺大橋(眺望)・横河川桜並木
②土遊び(陶芸)
③涙もろいところ

①諏訪湖周沿いの
街灯りが望める所
②旅行・読書・映画
音楽・SNS
③常に前向き
ポジティブ
楽天的

①塩嶺大橋(眺望)・横河川桜並木
②土遊び(陶芸)
③涙もろいところ

①八ヶ岳を臨む、諏訪湖の湖畔
②始めたばかりの野菜作り
& 草取り
③明るい笑顔と元気な眉間の皺

①高台から見える
諏訪湖
②野球・ゴルフ
③体力と行動力

①塩嶺大橋(眺望)・横河川桜並木
②土遊び(陶芸)
③涙もろいところ

市議会のしくみ

市議会の役割

私たちが住んでいる岡谷市を住みよいまちにしていくために、本来ならば市民の皆さんが集まり話し合えばいいのですが、現実には難しいことから、市長や市議会議員を選挙で選び、市民の代表として話し合われます。その話し合いの機関が「市議会」です。岡谷市議会の議員定数は18名です。

- ◆市議会(議決機関)…市の方針や計画のほか、予算、条例、重要な契約等を決定します。
- ◆市長(執行機関)…議会の議決したことに基づき、市政を運営します。

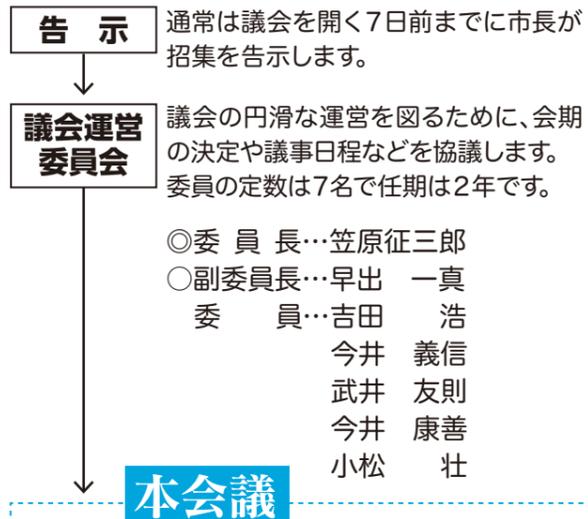


市議会の活動

- ◆定例会…定期的に招集される会議です。岡谷市では条例により年4回開催することが定められています。(概ね3月、6月、9月、12月に開催)
- ◆臨時会…必要な場合において招集される会議です。
- ◆その他…議案の審査や議会の運営に関する協議または調整の場として、全員協議会、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、会派代表者会議、議会改革検討委員会、議会広報広聴委員会などがあります。

市議会の流れ

市議会(定例会)は、次のような流れで進みます。



※一般質問

議長が開会を宣言し、会期を決定します。その後、市側から議案が上程され、提案した理由を述べ、議員が質疑を行います。議案を詳しく審査するため、議案の内容により所管する常任委員会に審査を付託します。

※一般質問

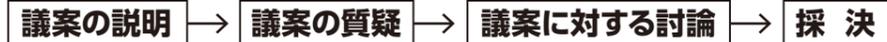
議員が市政全般について、その執行状況や将来の方針等を市側に質問します。岡谷市議会では一人の質問時間を30分以内としています。



●岡谷市議会では、一般質問の様子をシルキーチャンネルによる生放送・録画放送およびYou Tubeでのライブ中継のほか、市ホームページでの録画映像配信を行っています。ぜひ、ご覧ください!!

委員会

岡谷市では3つの常任委員会を設置しています。常任委員会では、所管する事項に応じて付託された議案、請願・陳情などを審査します。また、所管事項に関する調査を行います。



総務委員会

・企画政策部、総務部、会計課、議会事務局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関する事項

- ◎委員長…今井 康善 ○副委員長…田村みどり
- 委員…渡辺 太郎/武井 友則
- 早出 一真/笠原征三郎



社会委員会

・市民環境部、健康福祉部、福祉事務所、岡谷市民病院に関する事項

- ◎委員長…小松 壮 ○副委員長…浜 幸平
- 委員…藤森 博文/吉田 浩
- 早出すみ子/大塚 秀樹



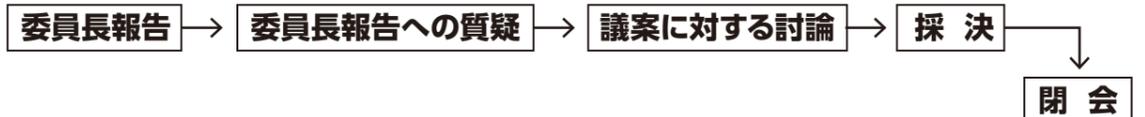
産業建設委員会

・産業振興部、建設水道部、農業委員会に関する事項

- ◎委員長…今井 義信 ○副委員長…遠藤 真弓
- 委員…山崎 仁/中島 秀明
- 中島 保明/今井 秀実



本会議



委員会に付託された議案の審査の経過や結果について、委員長が本会議に報告し、質疑が行われ、「賛成・反対」の討論後採決をします。議長が閉会を宣言し、議会のすべての日程が終了します。

ズバリ! 市政を問う!

一般質問



Q…議員の問い A…市からの答え

※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めると、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

目次

掲載は質問順です。

1. 田村みどり…6ページ
2. 早出すみ子…7ページ
3. 武井友則…7ページ
4. 大塚秀樹…8ページ
5. 吉田浩…8ページ
6. 浜幸平…9ページ
7. 笠原征三郎…9ページ
8. 今井義信…10ページ
9. 早出一真…10ページ
10. 山崎仁…11ページ
11. 今井秀実…11ページ
12. 中島秀明…12ページ
13. 小松壮…12ページ
14. 遠藤真弓…13ページ
15. 今井康善…13ページ

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

●一般質問の順位は、定例会招集日の開会前(3月定例会を除く)に、くじで決めます。

Q 諏訪湖スマートIC計画の現状と今後は?

A 実施計画に対する国の認可待ち



田村みどり

Q 諏訪湖スマートICの現状は?
A 国の実施計画の認可、一般道から高速道路への連結許可を目指して協議中であり、連結許可が得られれば、正式に事業化の運びとなる。

Q 諏訪湖スマートICの今年度の計画は?

A 今年度は、アクセス道路とアプローチ道路の詳細測量、詳細設計、用地測量、補償算定などを予定。

Q 子育て支援アプリ「げんきっす」の運用は?

A 運用開始以来14日間で、225名が利用している。担当課から必要とする方々に適切なタイミングで効果的に情報配信できる、子育て世代には、大変有用なアプリなので、今後も周知に努めたい。

Q 保育園の散歩コースの安全対策は?

A 市営住宅80%、各市町村では諏訪市40.5%、茅野市36.9%、下諏訪町80%、富士見町90%、原村100%。岡谷市は一番遅れている。

Q 保護者や子どもたちがトイレの洋式化について声を聴いているが、学校の先生方からはどんな声があるか?

A 家庭での洋式トイレの標準化により、和式トイレの使い方を知らない子どもも多いが、和式トイレを練習する場所がない。洋式トイレを増やしてほしいとの要望や、ウォシュレット機能の希望もある。
*意見：他にも休み時間に洋式トイレの洋式化について声を聴いているが、学校の先生方からはどんな声があるか?

Q 学習に集中できないのでは?と思うが学習の環境整備は?

A 昨年度策定したプランの学校施設整備実施計画のなかで、トイレ改修は重点的な整備に努めるとし、優先的に実施していきたい考え方を示したところである。県は、県立高校のトイレの洋式化率80%を目指している。本市でも計画的なトイレの洋式化に努めてまいりたい。今年度から岡谷東部中学校の改修が予定されている。

示したところである。県は、県立高校のトイレの洋式化率80%を目指している。本市でも計画的なトイレの洋式化に努めてまいりたい。今年度から岡谷東部中学校の改修が予定されている。
*意見：学校は避難場所であり、市民の皆さんの要望でもある。洋式トイレは和式トイレの2〜3倍の節水になるので、一刻も早く洋式トイレ100%を実現していただき、子どもさんが安心して学校生活を送れるように切に要望する。



Q 未満児保育希望者の推計への考えは?

A 無償化での増加は想定なし



武井友則

Q 幼保無償化を受けて未満児保育希望者の推計について考え方は?
A 無償化の対象が限定的であることから、無償化を理由とした希望者の増加は想定していない。しかし保

Q 未満児保育希望者の増加傾向に対し保育士確保の現状と対応は?

A 本市は、国の基準に基づき長野県が定める配置基準を一部引き上げ、より安全な保育を実施している。増加が見込まれる未満児保育には、職員の確保が必須。計画的な職員採用等により確保に努めたい。
↓幼保無償化により給食費の心配

Q 新型車両導入の考え方は?

A 更新予定11台の半数程度を、山



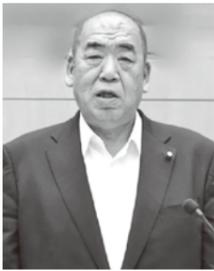
新生児の小さな足

や長時間保育の増加を心配する声を聞いた。親と子の関係、また親子と保育士さんが良い関係でいられるような制度設計と、なるべく早い周知を要望する。

Q 多機能型消防自動車では自動車ポンプ操法が行えないが考えは?

A 車輛更新は消防力強化が目的である。一方、消防操法訓練は消防団の根幹をなす大切な訓練と承知している。消防団会議や操法委員会で、できるだけ団員の負担軽減を考慮しながら訓練や操法大会を継続していくことを検討している。分団を越えての訓練も本市消防団にとっ

Q 消防団の在り方を検討する場の設置は？



大塚 秀樹

A 岡谷市消防団協力事業所標示制度をはじめとするさまざまな施策により、消防団活動を取り巻く環境を整え、各分団幹部の努力により常

時定数を概ね満たす数を確保できている。幹部選任は多くの分団で、特に分団長は地区から選任されることが大半で、副分団長、部長、班長は現役団員から昇格することが一般的となっている。

Q 消防団活動の現状は？

A 消防団員の「安全確保」「負担軽減」「処遇改善」を三本の柱として、円滑な活動に留意している。消防操法や行事の取り組みでは、団員自らが組織を設け課題解決に取り組んでいるほか、幹部とともに消防団運営に積極的に関与している。

Q 団長や団長経験者、更に有識者などによる消防団を検討する場は？

A 岡谷市消防団活動に係る根幹的な方針の決定や諸問題の解決については、現役正副団長及び12名の分団長による「岡谷市消防団会議」が中心に行っている。判断が難しい案件が発生した場合、歴代の消防長、正副団長経験者、分団長経験者で構成する「岡谷市消防協会」などから意見をいただき、消防団に係る方針決定や問題の解決にあたっている。新たな検討機関を設置する必要性は低いと考えている。

Q あらゆる災害への備えは？

A 救助関連資機材については、種類、数量とも不足している。消防団車輛の更新時に、大規模震災に対応できる救助資機材を備える。本年3月に配備した新消防団車輛には既に、救助資機材を全て搭載している。今後の標準として更新車輛を設計し、団車輛の半数程度に装備し、本市消防力の強化を図る。



消防団車輛

Q 公衆無線LAN環境整備事業への取り組みは？



吉田 浩

A 状況や必要性を踏まえ検討

Q 新たに市立岡谷図書館に公衆無線LAN環境を整備するそうだが、その他の公共施設の整備予定は？
A 現在、市の公共施設としては4か所、民間事業者による契約者限定

子どもの利用への配慮

Q 図書館に公衆無線LANが整備され、子どもたちが自由にインターネットができることになる。親の目の届かない図書館がゲームやSNSなどをするために集まる場所になることを懸念しているが対策は？



市立岡谷図書館

A 館内において不審者や不審物の確認をするため毎日計4回の職員巡回があるので、あわせて児童生徒も含め利用者の適正な利用に向けた配慮をする。スマートフォンやタブレットなどの利用については認めるが、現状は館内で守るべきモラルの問題は起きていない。公衆無線LAN環境が整備される今後も、子どもたちが複数でゲームをして周りに迷惑をかけるなど不慮と思われる様子を確認した場合は、声がけ注意をするなど見守りをしながら来館機会を生かし、読書活動につながる働きかけもしたい。

Q 運転免許返納の必要性と課題は？



浜 幸平

A 地方での返納義務化は困難

Q 通学、通園路の交差点保護にかかわる点検と注意喚起の現状は？
A 関係者が情報共有し定期的な調査・点検を実施。ガードパイプ設置、路面補修などを行う。児童生徒にはチ

ラシを配布する。

Q 高齢ドライバーの運転免許強制返納への見解は？

A あくまで本人の意思が前提。地方では車がないと通院、買い物ができないので義務化するのには困難。個人・家族にとどまらず、社会全体で取り組むべき課題である。

Q 急発進防止など安全装置導入への補助金は？

A 現時点で市単独の補助制度を新設する考えはない。国・県の動向を注視していきたい。

Q 学校給食無償化を強く求めます



笠原 征三郎

A 無償化は、考えていません

Q 就学援助の中で、給食費の援助を受けている人数と受給率は？
A 平成27年度は544人で、13.2%。平成28年度は524人で、13.0%。平成29年度は509人で、13.0%である。

Q 各家庭で教育に係る費用で、最も負担が重いものは何か？

A 入学時の学用品費や修学旅行の費用など、一時的に大きく費用が掛かるものもあるが、通年で考えれば給食費の負担が一番大きい。

Q 給食費に関係しての先生の負担は？

A 給食費の徴収は口座振替によって行っている。先生の負担としては振替ができなかった場合、家庭への連絡などの対応がある。

Q 学校教育の中で、学校給食をどのように考えているか？

Q 学校教育の中で一番大きな負担は給食費である。給食費の無償化は子育て世代への大きな支援となる。また、無償化は先生の負担の軽減にもつながる。学校給食が教育の一環であるならば給食費の無償化は当然だと思いが、いかがか？



A 学校給食は、教育の一環であり、食育の重要性は変わることがないと考えている。

Q 公用車へのドライブレコーダー設置、整備の状況は？

A 公用車120台のうち、15台設置。共用車両には段階的に進め現在35台中11台。本年度中に3台設置予定。計画的に増設していく。



免許返納後発行される運転経歴証明書の見本(費用が発生します)

消防団員の処遇改善

Q 団員の処遇改善の進展は？

A 出動手当の支給額は、1回当り600円から平成27年度は千円に増額している。また、年報酬や退職報奨金についても国の法令などに準じ、適正な金額を維持している。

Q 法改正に伴う安全装備品の充実・強化は？

A 平成28年度に特定小電力無線機を48台増設した。今年度は防火衣、ヘルメット、防火手袋、防火長靴などの個人装備を、各団6人分配備する。

商業施設での期日前投票

Q 全国的に投票率は減少傾向が続いているが、岡谷市として、投票率向上への取り組みは？

A レイクウォーク岡谷に期日前投票所を設けた。

Q 開設日数を増やせないか？

A 店舗側の都合もあるので、調整を行ない、開設していきたい。

Q 製造業への創業支援のあり方は？



今井 義信

A 各種補助と相談窓口開設

Q これまでの支援の実績に対する評価は？

A 製造業の新規創業は、岡谷市工業活性化計画においても重要な位置付けと捉え、相談体制の充実と情報収集に努め、より良い環境整備を図る。

Q 市内企業のAI、IoTへの取り組み支援は？

A 企業アンケートでは、人手不足や従業員の高齢化など人材に関する課題が見られた。また、人材確保に向け、工学系の大学訪問や公立諏訪東京理科大学との連携による、市内企業への就職支援を行っている。AI、IoT活用により、生産性の向上と経営基盤の強化に対しての支援事業を継続して取り組む。

Q 中高年者のひきこもり対応は？

Q 岡谷市での状況把握は？

A 相談への抵抗感や、その家庭の

自身の孤立化など、認知の難しさが課題であり、すべてのひきこもりの状況把握まで至っていない。

Q 岡谷市としての問題意識は？

A 抱える課題への幅広い対策が必要であり、精神保健分野や福祉・教育分野、労働分野など、さまざまな分野から、社会全体で多面的・総合的なアプローチが必要な課題。

Q 庁内の電子化の取り組みは？

Q 情報保護の管理体制は？

A 万全な対策が配られているか？

A 岡谷市ICT活用推進ビ

ジョン」を策定し、個人情報などの情報資産を守るセキュリティ対策の強化を行いながら、ICTの推進に取り組んでまいりたい。

Q 岡谷市民病院の電子化の現状は？

A 「NPO法人信州画像診断ネットワーク」による遠隔画像診断等、医療におけるIT活用を推進中。

Q 今後の電子化への対応は？

A 患者さんにとつてどのような影響があるかなども考える必要があり、慎重に進めたい。



皆様の声をよく聞いて、見て、感じて市政に届けます。By 義信

Q 都市計画道路整備の進捗状況は？



早出 一真

A 将来の道路網を見極め整備

Q 今後の都市計画道路の整備路線の考え方は？

A 都市計画道路の事業化には、用地買収や建物保障のほか、道路整備工事など、さまざまなステップを経

るため、相当な期間と多額な事業費が必要である。また、事業化についても、国の交付金を活用する中、市の歳出を抑え事業化している。対象路線の選定は、すでに完了した路線との接続による利便性の向上や、他の事業との整合性に加え、通学路の安全確保等のメリットを考えながら検討している。

上小井川信号から見た事業予定箇所



Q JR東日本が春のダイヤ改正で、特急あずさの停車本数を削減したが、

Q 今後の対策は？

A 特急あずさダイヤ改正

Q 国道20号バイパスから国道20号線を繋ぐ東町線、施工が止まっている区間の整備をすることのメリットと現在の状況については？

A 東町線は、国道20号バイパスと国道20号線が結ばれることで、近隣地域のネットワークや幹線機能の充実、地域の活性化につながる重要な路線である。現在は一部の用地買収に至って

Q 国道20号バイパスから国道20号線を繋ぐ東町線、施工が止まっている区間の整備をすることのメリットと現在の状況については？

A 東町線は、国道20号バイパスと国道20号線が結ばれることで、近隣地域のネットワークや幹線機能の充実、地域の活性化につながる重要な路線である。現在は一部の用地買収に至って

Q 国道20号バイパスから国道20号線を繋ぐ東町線、施工が止まっている区間の整備をすることのメリットと現在の状況については？

A 東町線は、国道20号バイパスと国道20号線が結ばれることで、近隣地域のネットワークや幹線機能の充実、地域の活性化につながる重要な路線である。現在は一部の用地買収に至って

Q JR東日本が春のダイヤ改正で、特急あずさの停車本数を削減したが、

Q 今後の対策は？

A 特急あずさダイヤ改正



Q 児童クラブ料金引き下げを

Q 児童クラブ使用料が高すぎるとの声を聞く。毎月、登校日に利用し、また、休業中、毎日利用したとすると、年間の負担はいくらか？

A 登校日、月額3,500円、12か月で4万2千円。長期休業、日額600円、80日間毎日利用なら、4万8千円。合計年額9万円となる。

Q 児童クラブ使用料引き下げの考えは？

A 使用料の設定は適正なものと考えており、今のところ引き下げの考えはない。



野外でのバスケットを体験してみました

Q ストリートバスケットゴールの設置場所は？



山崎 仁

A 規制などで設置が難しい

Q 野外でのバスケットを楽しむ大人や子ども達は松本、山梨まで行っている現状。近年、スポーツも多種に人気に分かれ、バスケットもアメリカでのプロ選手が誕生する時代に

なり、岡谷市も例外ではなく競技人口が増えている。ストリートバスケットゴールを、ローラースケート場跡地や湖畔公園に設置できないか？

A 岡谷湖畔公園は、埋め立て地を公園敷地内としているため、河川法の規制により設置が難しい。ローラースケート場跡地は、土地を切り崩して建設し、土留めも兼ねているため、利用方法を決めて解体を行い、整備したい。市内のスポーツ振興のニーズ等も把握する中で、検討を深めていきたい。

Q 国保引き下げのため一般会計繰り入れを



今井 秀実

A 繰り入れ実施の考えはない

Q 国保税は、重税の状況だ。モデルケースでどうか？

A 4人家族のモデル世帯で、10年前は年額約34万7千円、現在は約39万9千円となっている。

Q 昨年4月からの国保都道府県化で、岡谷市の国保税は、2年連続で引き上げとなった。今後、毎年引き上げとなることを見込まれる。見通しは？

A 昨年は、平均2.38%の引き上げ、今年度は平均3.60%の引き上げとなった。今後も県に納付する額を確保するため、令和5年度までは、引き上げとなること予想される。国保加入者以外の市民にとっては、保険料の二重払いとなることから、一般会計からの繰り入れを実施する考えはない。

Q 児童クラブ使用料が高すぎるとの声を聞く。毎月、登校日に利用し、また、休業中、毎日利用したとすると、年間の負担はいくらか？

A 登校日、月額3,500円、12か月で4万2千円。長期休業、日額600円、80日間毎日利用なら、4万8千円。合計年額9万円となる。



湖上からの水門

Q スポーツの地域経済や商業への取り組みは？

A 今後さまざまな取り組みを検討



中島 秀明

団体との連携による振興事業と共に合宿等の誘致によりまちづくりを推進している。

Q 『地域スポーツコミッション』とプロスポーツチームとの連携に関する研究は？

A 平成28年設立の長野県スポーツコミッションに参加して、情報収集をしている。プロスポーツとの連携は、プロスポーツチームやトップアスリートの試合や講習会などの開催をしている。8月には、卓球の平野早矢香さんの講演会と卓球教室を予定している。

地域経済や商業の活性化は？

Q スポーツを利用して地域と連携した経済や地域の活性化に向けた取り組みは？

A プロスポーツの試合やその他の大きな大会を誘致することで地域振興や岡谷市の発信をしており、今後も継続していく。

Q 商店や商工会議所などと連携してプロサッカーチームの松本山雅戦のライブ中継等を行うことで地域経済や地域の活性化を行うためのララビジョンの取り組みは？

A スポーツ振興に限らず、岡谷の地域活性化や地域商業にも寄与しており、このような集いの場は非常に大切であると認識している。岡谷市商業活性化会議でも人の集まる場所の必要性が検討されており、スポーツを始めとするさまざまな切り口から、市全体の活性化につながる取り組みの必要性を認識している。



ララビジョン

Q 『岡谷市スポーツ推進計画』の5つの基本政策の内、まちづくりに関する取り組みの進捗状況は？

A 岡谷市ゆかりのスケートとバレーボールを取り上げており、関係

Q 小学生の通学時の安全対策は？

A 「さすまた」を設置



小松 壮

の安全確保対策について指示があった。事件当日は集団下校とし、警察官が校門付近で見守りを行った。

Q スクールバス乗り場の事件があったが、岡谷市が委託しているスクールバス会社での対策は？

A 今回の事件を受け「さすまた(刺股)」をバスに常備した。

Q 子どもが自らの身を守る教育と、防犯ブザーの保持率は？

A 「行かない、乗らない、大声で叫ぶ、すぐに逃げる、知らせる」といった教育の必要性を感じている。防犯ブ

ザーの保持率は約55%となっている。



保持率100%を強く要望!

Q スポーツ施設使用料の更なる減免の考え方は？

A 施設の維持管理にかかるコスト面からも一定の受益者負担は必要と考えるが、少子高齢化や社会情勢の変化に伴い生じるさまざまな課題に注意を向けながら、スポーツ活動に対する支援を図っていきたい。

Q 駅南土地活用について、

Q 岡谷太鼓まつり50周年の内容は？

A メインステージの横に小ステージを設置し、過去の太鼓まつり映像を流すほか、会場と観客が一体となるようなイベントを企画し、市民の記憶に残るお祭りになりたい。また太鼓まつりとは別イベントとして記念式典の開催や記念誌の作成を計画している。

Q 子どもの権利侵害への相談・救済制度は？

A 子どもの権利保護委員など、全国の取り組みを研究していく



遠藤 真弓

利が定められている。また、児童福祉法では、児童の権利に関する条約を位置付けた改正が行われた。本市においても、条約の趣旨を理解し、児童の最善の利益を優先した取り組みを続けてまいりたい。

Q 平成14年制定の「おかや子育て憲章」制定の経緯は？

A 家庭での養育力を高める必要、大人としての在り方を考えるべきとの意見から、子どもの育成は、家庭、学校、地域、行政が一体になって取り組む必要があるという観点で制定した。市民総参加による子育てのまちづくりを進める指針である。



成長期ごとの子育て実践ポイントが書かれている

Q 子どもの権利・普及啓発の必要性は？ 支援策や相談・救済制度は？

A 岡谷市では「いじめ根絶子ども会議」を毎年開催し、各学校の人権活動につなげているほか、市民対象として人権教育の研修や講座を開催している。また、子ども総合相談センターを設置し、他にフレンドリー教室、中間教室など相談支援体制を構築している。
*意見：子どもの権利が侵害された時は、迅速に救済・回復される必要があるが、子どもには大人が保護する義務もある。子育て憲章から一歩進んだ形が必要だ。子どもを対象とした子ども権利擁護委員を設置してほしい。

Q 歩いて暮らせる

A 人口減少時代に機能の集約



今井 康善

Q コンパクトなまちづくり促進、立地適正化計画策定の進捗状況は？

A 平成30年度は国政調査データなどによる計画の微調整を行い、素案の作成を行った。

Q 今後の進め方について

A 策定庁内協議会幹事会で協議、修正。都市計画審議会で見聞徴収、議会への報告を経て公表。時期については未定。

Q 免許返納が増える中で公共交通網であるシルキーバス利用状況は？

A 平成28年度は13万6,541人、平成30年度は13万1,409人で年々減少。返納に伴って無料回数券を交付し、平成28年度91件、平成29年度92件、平成30年度84件。平成28年度から増加、返納後に活用。

Q 利用者減少の理由は？

Q 公共交通や都市機能の拠点としての中心市街地の重要性は？

A 中心市街地は立地の重要性や優



シルキーバス路線

A 朝を中心にニーズの高い時間帯で便数が不十分、利便性の点で自家用車をはじめ他の移動手段に転じた結果減少に。乗降調査でニーズの吸い上げ、見直しを図る。
【要望】ハブ&スポーク化、定期券、等、利便性向上のための研究を。

商業活性化計画について

Q 商業が抱える課題の認識

A 買い物客のニーズ多様化への対応、設備投資、創業、事業承継支援など、多岐にわたる。個店や商店街に興味を持ってもらう課題もある。

Q 商業政策への課題

A 商業等振興補助金を中心に幅広く活用され、一定の成果を挙げている。現状の支援策では取り組みにくいニーズの検討に努める。

【6月9日:土砂災害防災訓練】

小雨の中、緊張感ある訓練でした。新倉区のみなさんから、ご意見をいただきました。

- ①市議会だよりをご存知ですか?
- ②市議会議員に対するイメージは?
- ③議会/議員へ望むことは?



- ①一応読むけど内容が堅苦しいネ。
- ②日々の活動や忙しさが見えてこない。
- ③活動をもっと「見える化」して。
・中島和彦さん



- ①情報が多く、わかりにくい。
- ②役割が市民にぼやけている。パイプ役は区長もできる。
- ③役割の再認識を。
・三澤勝さん(新倉区長)



- ①行政視察等を特に読んでいる。地元議員の活躍は嬉しい。
- ②身近な地元の人って感じ。
- ③不用意な言動に注意して。
・熊谷アイ子さん
・三澤千鶴さん



- ①知ってますよ…。
- ②ボランティアをよくやってくれる人
- ③活動の見せ方を工夫すべき。行事に出て市民の声を聞いたらどうか。
・大平友宏さん



【7月5日:富岡市・岡谷市議会議員交流研究会】

姉妹都市の富岡市議会を招き、交流研修会を開催しました。改選後初の交流であり、岡谷市の概要など紹介し、常任委員会ごとに課題等の意見交換をしました。



編集後記

今号より、市議会をより多く知っていただくために、ページを増やし一般質問の掲載を始めました。当方だけの思いに留まらず、読み手である市民の皆様への都合や期待にも応えるべく、市議会だよりタイトルを設け表紙も一新、分かりやすい記事に読みやすい文字など、工夫してみました。まだまだ課題は残りますが、全ては、手にとって読んで頂ける親しみやすい市議会だよりを目指して…。

市民の皆様の声も載せながら、一緒に議会だよりを作成する姿勢で参ります。

蛇足ではありますが、8月6日には、教育委員会との共催により、「議会キッズおやか」と題し、夏休み子ども学級講座にて、多数の小学生が議場を訪れます。議員と質疑などでふれあい、政治家体験をするという企画が予定されております。市民へ開かれた議会への更なる前進につながるものと願っております。
(藤森博文)

■議会広報広聴委員会

- 委員長 / 藤森 博文
- 副委員長 / 田村 みどり
- 委員 / 吉田 浩
- 委員 / 今井 義信
- 委員 / 早出 すみ子
- 委員 / 今井 康善
- 委員 / 小松 壮

○次号(第17号)の発行は、令和元年12月25日の予定です。

